

関平だより

平成 23 年 4 月号

発行 霧島市営 関平鉱泉水販売所

0120-235-524

定休日は第1及び第3火曜日

4月の定休日は**5日(火)**と**19日(火)**です。

東日本大震災お見舞い

東日本大震災で被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。連日テレビなどで悲惨な状況を目の当たりにし、被災状況の甚大さと悲惨さにただただ驚くばかりです。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。まだまだ続いている余震や原発事故、一刻も早く事態が収束に向かうことを願っております。また、計画停電で不自由な生活を強いられている関東エリアの方々にも一日も早い復旧をお祈りいたします。

被災地へ救援物資支援

国内外からの支援の輪が広がる中、霧島市も『関平鉱泉水』を提供！！



関平鉱泉所は3月19日(土)東日本大震災で未曾有の被害に見舞われた被災地の皆様に対し、救援物資として「20リットルパック500個」を提供しました。霧島市の関平鉱泉水が少しでも被災された皆様のお役に立てばという思いを込めてトラックを見送りました。

「関平鉱泉水」と始良・伊佐地区茶業振興会など提供の「ペットボトル茶」を霧島運輸倉庫のトラックがボランティアで被災した宮城県名取市と田沼市へ届けました。出発式風景。



関東方面からの注文が殺到

東京都水道局の浄水場の水道水から、1歳未満の乳児の摂取制限指標を上回る放射性ヨウ素が検出された3月23日、乳児が水道水を飲むのを控えるように都が求めたことで、都内のスーパーなどではペットボトルの飲料水が品切れとなり、乳児を抱えるお母さん達からぼう大な数の注文が殺到しました。飲み水に不安を抱える関東方面の皆様にも一刻も早くお届けできるようにと現在、職員も休み返上で連日夜遅くまで増産体制で対応しております。



▲ 開店前の関平鉱泉所 車の行列 3/26(土) AM7:30

水道水から放射線が検出された関東方面からの注文が殺到する中、関平鉱泉所には鉱泉水を関東方面に住んでいる家族に送ろうと多くの方が連日朝早くから鉱泉所に並びました。

窓口販売の状況(4/1現在)

- 車一台につき3個まで
- 宅配受付=なし
- ペットボトル=なし
- 在庫が無くなり次第販売を終了翌日8:30より販売になります
- 宅配注文は申込順に発送

混雑によるお届け遅延のお詫び

現在、お申込みが殺到しております関係で、お客様には大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。商品の発送について、お申込みいただいた順番に発送しております。ご不便・ご心配をお掛けして申し訳ございませんが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。皆様のもとへ一刻も早く商品をお届けできるよう職員一同努力して参りますので、どうかよろしく願い申し上げます。

※ 関平鉱泉水の販売に関する情報につきましては

[鹿児島県霧島市公式ホームページ - 関平鉱泉・関平温泉](#) をご覧くださいませ。



霧島の歳時記

霧島市 和気公園で『第8回 藤まつり』が開催されます！！

霧島市の和気公園では4月中旬頃「藤まつり」が開催され毎年大勢の見物客が訪れます。例年の見ごろは4月中旬から5月初めの約10日間です。

4月16日（土）に予定されている開花セレモニーでは、霧島九面太鼓の演奏の他、OL層を中心に人気を誇る鹿児島県出身のシンガー・ソングライター「おじゃんせ霧島大使」の^{からしまみどり}辛島美登里さんのミニライブも午後4時から予定されています。



▲ 23種類100株のフジの花が色とりどりで美しく、甘い香りに包まれます。



▲ 霧島九面太鼓
お問い合わせ先
和気公園藤祭り実行委員会
TEL=0995-57-1588



第28回全国都市緑化かごしまフェア（愛称：花かごしま2011）は、九州新幹線全線開業にあわせて、県立吉野公園及び鹿児島ふれあいスポーツランドを中心に、平成23年3月18日（金）から平成23年5月22日（日）までの66日間にわたり開催されている花と緑の博覧会です。

野外出展（メイン会場）市町村PRステージでは4月17日（日）に霧島市がPRを行います。

実行委員会事務局
電話：099-286-2111（代表）
FAX：099-286-5553



関平温泉湯の神祭り

原田丑太郎への感謝と源泉の永続と安全を祈って

『関平温泉湯の神祭り』が4月19日（火）に開催されます！！

関平温泉は、一八三三年（天保三年）原田丑太郎という田舎武士が発見したという伝説が残っています。以来、絶えることなく湧き続け、名泉として全国に名が知れるようになりました。

関平温泉の源泉



▲ 関平温泉湯の神祭り風景

関平鉱泉水の水質について

※ 出典：東京都水道局 HP



編集者のひとりごと

東北から関東にかけての地震、そして津波、原発事故により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。テレビなどの報道を見たり聞いたりして、胸が痛むばかりです。1日も早く復興できることを願っています。私も自分にできることはして、少しでもみなさんの明日への力に協力できればと思っています。関東エリアの計画停電で不自由を強いられている方々に微力ではありますが関平鉱泉所の工場の節電に努めたり、出来る活動をしていきたいと考えております。